

20年度 高砂市次世代育成支援行動計画に係る事業計画の実施報告書

項目	実施状況	回数・人数等	担当課
I-1-① 家庭児童相談室	家庭相談員を1名増員し、2人体制として相談窓口の充実を図った。	相談件数 107件	児童福祉課
地域子育て支援拠点事業	地域の保育園を活用した体験保育「ららん」を実施しサークルの育成を行った。また、子育て支援者に対するサポート講座、子育て親子に向けたちびっこフェスティバル、地域交流事業等を開催した。	52回 延べ2399人	児童福祉課
(子育てゆとり創造センター事業)	(地域子育て支援拠点事業に名称を変更)		
子育て学習センター事業	子育て支援センターおよび中央公民館にてグループ活動を行い、各機関に連携をとりながら講演会、絵本の読み聞かせ、作って遊ぼう(制作)講座、子育てセミナー講座、三世代交流事業等を実施した。	61回 1540人	生涯学習課
スクールカウンセラーの配置	全中学校と、荒井小、伊保小、米田小、米田西小、小学校について、県が配置。その他、6校の小学校に市で配置。児童及び保護者の相談に応じた。	相談件数1740件	学校教育課
適応指導教室の充実	不登校児童生徒について、自主学习や個別学習、体育活動、イベント等を通して交流を深め、個々の悩みや相談を聞くことで不安を解消し、学校生活への復帰を支援した。		学校教育課
少年相談	広報「たかさご」に毎月相談案内を掲載する等、相談業務についての周知を図った。相談者に対しては、的確な指導助言を行うように努めた。	相談件数 41件	青少年補導センター
教育110番事業	子どもたちの様々な問題について、電話相談に応じた。		学校教育課
I-1-② 子育て支援ネットワークづくり	子育て支援センター登録のサークル交流会を開催し、サークル間の交流、子育てに関する情報交換を行った。また、出前講座による自主サークルへの支援も実施した。	32グループ 延べ774人	児童福祉課
子育てマップの発行	子育て中の家庭を支援するため、「たかさご子育てすこやかガイド」を発行した。	1万部	児童福祉課
子育て情報誌の発行	子育て支援センターにおいて、「すこやか」「あそぼ」「子育てサークル一覧表」「子育て応援情報」を発行した。	すこやか年3回、あそぼ年9回、サークル紹介、応援情報は各1回	児童福祉課
子育て学習センターグループ生による文集「ほほえみ」を発行した。		70部	生涯学習課
I-2-① 児童手当の給付	小学校第6学年までの児童を養育する子育て家庭に児童手当を支給した。	延べ 117,844人	児童福祉課

20年度 高砂市次世代育成支援行動計画に係る事業計画の実施報告書

項目		実施状況		回数・人数等	担当課
	就学援助の給付	小学校実人員1,020人	中学校実人員485人	就学援助 小 985人、中 473人 特別支援教育 小 35人、中 12人	学務課
	乳幼児等医療費の助成	小学3年(一部中学3年)までの乳幼児等の医療費を一部助成した。		対象者7,716人	国保医療課
	保育所保育料の軽減	保護者負担に配慮し、保育料の軽減及び減免措置を行った。		対象者71人	児童福祉課
	幼稚園保育料の軽減	幼稚園保育料の減免を34人に実施した。		34人	学務課
	学童保育料の軽減	母子家庭、父子家庭などの市民税非課税世帯について、保育料減免分の補助をした。		91世帯	児童福祉課
	高等学校奨学金の給付	月額8,000円を139人に給付した。		139人 8,000円×1,598月	学務課
I-3-①	子どものころの安らかな発達の促進と育児不安の軽減	母子保健推進委員が未受診児家庭を訪問し受診勧奨を行った。また育児相談等に応じる体制をとる。		随時 274人	健康増進課
I-3-②	児童虐待防止ネットワークづくり	8地区の民生委員会において、保育園・幼稚園・小学校・中学校の代表者が出席し、児童虐待についての研修会を実施した。また、要保護児童対策地域協議会代表者会を1回、ケース検討会議を24回開催した。		研修会参加者218人	児童福祉課 学校教育課 青少年補導センター
I-3-③	被虐待児童のケアと立ち直り支援	児童虐待のケースに応じて、中央子ども家庭センターと連絡を密にして取組を図った。		—	児童福祉課
I-4-①	「児童の権利に関する条約」の啓発	—		—	青少年補導センター
I-5-①	相談活動	母子自立支援員が就労相談等生活相談を目的とした相談に応じた。		延べ278件	児童福祉課
I-5-②	児童扶養手当の給付	母子家庭児童の福祉の増進を図るため、児童扶養手当を給付した。		延べ9,789人	児童福祉課
	児童福祉金の給付	ひとり親家庭に市独自の児童福祉金を支給した。		延べ20,430人	児童福祉課
	母子家庭等医療費の助成	母子家庭等及び遺児を対象に医療費の一部助成を行った。		対象者2,577人	国保医療課

20年度 高砂市次世代育成支援行動計画に係る事業計画の実施報告書

項目		実施状況	回数・人数等	担当課
	母子援護事業	20年度は措置なし。		児童福祉課
	母子・寡婦福祉法関連事業	母子自立支援相談員による各種相談を行った。また母子相談業務の啓発を目的としたカレンダー(1500枚)を作成し、対象者に配布した。	延べ278人	児童福祉課
	ひとり親家庭生活支援事業	児童扶養手当等各種手当について市広報誌やHPに掲載するなど制度の啓発に努め、生活支援を図った。	—	児童福祉課
	母子家庭自立支援給付金	自立支援教育訓練給付3人、高等技能訓練促進費給付5人。	8人	児童福祉課
II-1-①	地域子育てネットワーク事業	子供の見守りについて、各団体の協力のもと、安全パトロールや登下校の見守りを実施するなど地域全体で取り組んだ。	子育て家庭応援推進員 161人 活動員 1300人以上	生涯学習課
	ファミリーサポートセンターの設置	婦人スポーツ大会の実施を兼ねて、参加者がスポーツを通じて三世代の交流、ふれあいを深める「ふれあいスポーツ大会」を実施した。	1回 145人	生涯学習課
II-1-②	安全・安心のまちづくりの推進	説明会6回、講習会5回、交流会6回実施し、依頼会員195人・提供会員48人・両方会員38人、合計281人の会員登録があった。	活動件数 304件	児童福祉課
II-1-③	子育て支援センターの整備	各小学校区の安全マップ集を更新し、PTAや地域の団体と協力して、子どもの見守り活動を実施している。	学校休みの期間を除く毎日 各校区で5～6人	生涯学習課
	つどいの広場の設置	平成18年10月に整備、移転済。		児童福祉課
III-1-①	男女共同参画センター	子育て支援センターにおいて、毎週月・水・木曜日9時から15時まで開催し、親子遊び、子育て情報の提供、育児相談などを行った。また、地域の公民館に出向き「レッツゴーつどい」を開催し、親子の交流活動を実施した。	146回 延べ3,633人	児童福祉課
	男性の家事・育児への参加促進	女性カウンセンターによる「こころの相談」(1) 女性弁護士による法律相談(2) センターからの情報提供「情報誌Cocot」の発行(3)	(1.)月～金曜日 延791件 (2.)年12回 49名 (3.)年2回 6,000部	市民活動推進課 (男女共同参画センター)
		「パパと子の料理教室」 「男性の料理教室」	年1回 20名 年1回 21名	市民活動推進課 (男女共同参画センター)

20年度 高砂市次世代育成支援行動計画に係る事業計画の実施報告書

項目		実施状況	回数・人数等	担当課
	父親の育児への参加の促進	父親の育児への参加を図り、模擬縁日等の父親講座を開催した。	1回 75人	生涯学習課
	父親向け育児教室の開催	高砂市民病院助産師による「パパ・ママ育児レッスン」を1回開催。妊娠中の母体と胎児の変化についての講和、沐浴指導、妊婦疑似体験等の実施。	12回 86人	健康増進課
Ⅲ-1-②	男女平等意識の高揚	地域子育て支援フォーラム等において男女平等意識の高揚を図った。	2回 約900人	生涯学習課
	子育て体験集の発行	—	—	学校教育課
	児童福祉週間事業	ポスターを掲示して啓発を行った。	1回	児童福祉課
Ⅲ-2-①	育児休業制度の普及・促進	「育児・介護休業法のあらまし」のチラシ配布 育児休業・介護休業生活資金融資制度の紹介 母子健康手帳交付時に育児休業制度の説明等を行い、制度の活用を促す(希望者)	随時 随時	市民活動推進課 (男女共同参画センター)
	職業能力開発と技術・資格取得の機会の情報提供	県及び関係機関の講座実施の情報提供 参考図書貸出 ハローワーク加古川と連携し、求人情報の提供 再就職準備セミナーの開催 再就職支援セミナーの開催	随時 毎月2回最新情報の更新 3回 延27名 2回 延18名	市民活動推進課 (男女共同参画センター)
Ⅲ-2-②	働く場での母性保護や健康に関する相談の充実	電話相談及び面接相談を随時行う。	随時 60人	健康増進課
	労働時間の短縮	「ワーク・ライフ・バランス」に関するチラシの配布及び啓発	随時	市民活動推進課 (男女共同参画センター)
Ⅲ-2-③	パートタイム、派遣労働者等の労働条件の向上	パートタイム労働法のあらまし(関連制度の解説)等のチラシの配布	随時	市民活動推進課 (男女共同参画センター)

20年度 高砂市次世代育成支援行動計画に係る事業計画の実施報告書

	項目	実施状況	回数・人数等	担当課
	<p>仕事と育児・家庭が両立できる制度の確立</p> <p>仕事と育児・家庭が両立しやすい企業文化の普及</p>	<p>再就職準備セミナーの開催(再掲)</p> <p>再就職支援セミナーの開催(再掲)</p> <p>子育て支援情報の提供</p> <p>マザーズハローワークの紹介</p> <p>情報誌を高砂商工会議所窓口に置くことによる市内企業への啓発</p>	<p>随時</p> <p>随時</p>	<p>市民活動推進課 (男女共同参画センター)</p> <p>市民活動推進課 (男女共同参画センター)</p>
<p>Ⅲ-3-①</p>	<p>乳児保育事業</p> <p>延長保育事業</p> <p>一時保育事業</p> <p>子育て家庭短期入所事業</p> <p>休日保育事業</p> <p>病後児保育事業</p> <p>特定保育事業</p>	<p>入所希望者すべての受け入れに努めた。</p> <p>7時～19時までの延長保育を8園で、7時～20時までの延長保育を2園で実施した。</p> <p>一時的に保育を必要とする児童の保育を行った。</p> <p>母親の病氣により一時的に児童の養育が困難となった児童を施設に保護した。</p> <p>民間保育園1園で休日保育を実施した。</p> <p>民間保育園1園で病後児保育を実施した。</p> <p>今年度実施なし</p>	<p>10園</p> <p>6園</p> <p>延べ7日</p> <p>1園</p> <p>1園</p> <p>—</p>	<p>児童福祉課</p> <p>児童福祉課</p> <p>児童福祉課</p> <p>児童福祉課</p> <p>児童福祉課</p> <p>児童福祉課</p> <p>児童福祉課</p>
<p>Ⅲ-3-②</p>	<p>保育所の整備・機能の充実</p> <p>保育所の適正配置</p> <p>幼稚園・保育所の一体化</p> <p>保育士の資質の向上</p>	<p>—</p> <p>さくのみ保育園の民間移管の移管先法人を選考した。</p> <p>望ましい幼児教育推進委員会議で平成21年度阿弥陀保育センター保育体制について、幼稚園、保育園の統廃合等について協議した。</p> <p>年間研修計画に基づき、各種研修を実施した。</p>	<p>—</p> <p>6回</p> <p>部外研修 参加者数延べ36人</p>	<p>児童福祉課</p> <p>児童福祉課</p> <p>児童福祉課</p> <p>学校教育課</p> <p>児童福祉課</p>

20年度 高砂市次世代育成支援行動計画に係る事業計画の実施報告書

項目		実施状況		回数・人数等	担当課
	苦情処理委員会の設置	公立保育園に導入した苦情処理の仕組みを活用した。		公立保育園 10園	児童福祉課
	第三者評価システムの導入	次年度に向けて検討中。			児童福祉課
Ⅲ-3-③	学童保育所の公立化	NPO法人高砂キッズ・スペースとの協議は進展しなかった。			児童福祉課
	学童保育所の環境整備	児童数の増加に伴い、米田・米田西学童保育所をそれぞれ2つに分割し、児童を取り巻く環境の整備を図った。			児童福祉課
Ⅳ-1-①	友・遊学習室	平成17年度より廃止。			公民館
	子育て学習活動	グループ活動の支援、絵本読み聞かせ、グループ合同活動や講演会等を開催した。		7回 389人	生涯学習課
Ⅳ-1-②	青少年仲間づくり事業	各校区で球技大会、夏祭り、とんど祭り等を実施し、世代間・異年齢の交流を図った。また、児童の安全のため見守り活動を実施した。		17回 13,085人	青少年課
	4歳児保育の推進	全幼稚園で2年保育を実施し、幼児教育を推進した。		全幼稚園(10園)	学校教育課
Ⅳ-2-①	地域に開かれた幼稚園の推進事業	幼稚園・家庭・地域との連携をすすめるため、地域に根ざした幼稚園教育を推進した。		全幼稚園(10園)	学校教育課
	幼稚園・保育所の一体化(再掲)	望ましい幼児教育推進委員会議で平成21年度阿弥陀保育センター保育体制について、幼稚園、保育園の統廃合等について協議した。		6回	児童福祉課 学校教育課
Ⅳ-2-②	豊かな体験活動の推進	特別活動、総合的な学習の時間等で体験活動をおこなった。		全小中学校	学校教育課
	健全な心身を育てる教育の推進	道徳の時間や総合的な学習の時間等で、心の教育の充実を図った。		小中学校	学校教育課

20年度 高砂市次世代育成支援行動計画に係る事業計画の実施報告書

項目	実施状況	回数・人数等	担当課
豊かな教育環境の設備整備	学校施設の必要な修繕を行い、教育環境の整備を図った。	幼稚園、小・中学校	総務課(教育)
	耐震補強工事関係	小学校	総務課(教育)
	耐震診断・耐力度調査関係	幼稚園、小・中学校	総務課(教育)
	阿弥陀小学校移転改築に向け、用地取得・造成工事を行った。		総務課(教育)
少子化問題の啓発	次世代育成支援対策地域協議会を開催し、行動計画の実施状況等を確認し、協議会の中で少子化問題の啓発を行った。		児童福祉課
図書館事業	毎月、おはなし会・えほんのじかんを、またクリスマス・えほんのじかんを行い、子どもに本の楽しさを伝え子ども想像力を豊かにし、心の育成を図る。 ・えほんのじかん等 13回 206人 ・おはなし会 12回 119人	25回・325人	図書館
	市民教養講座、パソコン講座、各地区館自講座を開設し幅広い情報を活用できる場を設けた。 市民教養講座 7回 257人 パソコン講座 7回 69人 ふるさと教室 12回 729人 あやめ教室 43回 1,100人 ふれあい広場 12回 334人	81回 2,489人	公民館
みのり会館事業	書道教室(2学級、小学生対象)を実施した。	40回	みのり会館
体育館スポーツ教室	小学生スポーツ教室(柔道・陸上・バレーボール・フットサル・ラグビー教室)を5月～3月実施した。	159回 4,712人	スポーツ振興課
広島平和の親子バスツアー	8月1日～2日の1泊2日の日程で、親子で広島平和記念資料館において被爆体験談、被爆映画鑑賞、資料館見学等により原爆の恐ろしさを見聞し、平和の尊さ、平和を守ることの大切さを学んだ。	1回 18組36人	総務課

IV-3-①

20年度 高砂市次世代育成支援行動計画に係る事業計画の実施報告書

項目	実施状況	回数・人数等	担当課
姉妹都市との交流事業	海外姉妹都市交流事業(国際交流協会自主事業) 派遣期間:8月20日(水)～27日(水) 派遣内容:ホストファミリー宅でホームステイをし、市役所見学、ミニ演奏会や交流演奏会を行う。	高校生23名 引率者7名 計30名	市民活動推進課 (国際交流)
親と子の水辺の教室	子どもエコ教室 伊保小学校 7月29日 28人 北浜小学校 10月21日 49人	2回 77人	環境政策課
青少年仲間づくり事業	将棋や自然体験を通じて、他校区及び異年齢の青少年の交流を深め、こころ豊かな青少年の健全育成に努めた。 子どもリーダー研修会 6月14日～15日 74人 子ども将棋大会 7月13日 46人 夏休み工作教室 7月28日 34人 駅伝競走大会 2月7日 276人 海の生き物教室 6月3日～7月15日 10回 98人 子ども理科教室 7月26日～11月9日 15回 558人 親子ふれあいハイキング 10月26日 418人	4回 430人 10回 98人 15回 558人 1回 418人	青少年課
高齢者との交流事業	特別活動・生活科・総合的な学習の時間等に交流活動をおこなった。	保育園 全幼稚園、小中学校	児童福祉課 学校教育課
夏休み親子歴史体験教室	小学生を対象に「まがたま作り」、竜山石を使った「地球のかけらであそぼう」など古代体験講座を実施した。	3回 74組	生涯学習課
移動歴史体験教室	職員による移動教室は中止した。 教員対象の講習会を実施し、各学校に資料の貸出しを行った。	0回 0人	生涯学習課
環境教育	小学3年生を中心に、地域の人々の協力を得ながら自然を活用した環境体験学習を実施した。	研究指定校6校	学校教育課
乳幼児とのふれあい体験の推進	トライやる・ウィーク等の機会を利用し、ふれあい体験を行った。 高校生と幼児との体験交流を保育園で受け入れている。	全中学校 保育園	学校教育課 児童福祉課

20年度 高砂市次世代育成支援行動計画に係る事業計画の実施報告書

項目		実施状況	回数・人数等	担当課
IV-3-②	子ども会活動への助成	子ども会活動が円滑に運営できるよう、活動費への助成を行った。	子ども会員 6,680人 子ども会の数 59クラブ	青少年課
	児童健全育成活動自主サークルへの支援	人形劇、三世代交流、出前講座等を実施した。		児童福祉課
IV-4-①	学校施設の活用	地域住民や子どもたちの交流促進の場として運動場、体育館等を開放し利用に供した。		総務課(教育)
	開かれた学校づくりの推進	オープンスクールを実施し、地域に園・学校を開放した。 社会教育施設や各学校等を活用して「放課後子ども教室」を実施した。	全幼稚園、小中学校 3日～5日 408回 16932人	学校教育課 生涯学習課
V-1-①	公園緑地の整備	—		都市整備課
	自然とふれあえる環境の整備	市ノ池公園でのバーベキューサイトを開放し、親子の交流を図った。	年間	都市計画課
	遊び場の充実	兵庫県が整備したあらい浜風公園の管理委託を実施した。	年間	都市計画課
	授乳コーナー等の設置	—	—	児童福祉課
	各種行事の託児コーナーの開設	各種講座等への保育士の派遣	11回 23名派遣	市民活動推進課 (男女共同参画センター)
V-1-②	土地区画整理助成事業	小松原地区のまちづくりについては、県事業にて沖浜平津線(小松原工区)の事業化を実施した。		都市整備課
	福祉のまちづくり事業	福祉のまちづくり事業としては予算化していないが修繕費で街区公園の遊具等の施設の修理を行った。 福祉のまちづくり事業としては予算化していないが、交通安全施設設置事業で視覚障害者用誘導ラインを設置した。	58件	都市計画課 道路保全課

20年度 高砂市次世代育成支援行動計画に係る事業計画の実施報告書

項目	実施状況	回数・人数等	担当課
V-2-① 防犯体制の充実	<p>幼稚園、小中学校で防犯訓練を実施した。</p> <p>公用車によるパトロール、下校時の見守り放送の実施。 不審者情報メールの配信。 不審者対策研修の実施。</p> <p>保育園職員に不審者対策の研修や訓練を実施し、園児への安全教育を実施した。</p>	<p>幼稚園、小・中学校 47件 1回48人</p>	<p>学校教育課 青少年補導センター 児童福祉課</p>
V-2-② 交通安全教室 チャイルドシート普及・啓発事業 「とまれ」シールの設置 道路の整備	<p>青色防犯パトロールを実施し、児童の登下校時の安全を守る。</p> <p>保育園・幼稚園28回、小学校11回、中学校3回、高校2回、高齢者7回実施した。</p> <p>子供の安全を守るため、チャイルドシートの啓発を行った。</p> <p>保育園・幼稚園出入口の飛出し防止シールの老朽箇所の張替えを行った。</p> <p>沖浜・平津線(古新工区、小松原工区)、米田79号線、神鋼前道路、千鳥橋改良事業の道路改良により、歩行空間の整備を実施した。</p>	<p>244日(2人) 8,436km 51回 5,403人 12回 230人 10箇所</p>	<p>危機管理室 道路保全課 道路保全課 道路保全課 都市整備課</p>
VI-1-① 乳児保健相談、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査 子どものこころの相談 妊産婦等訪問指導	<p>乳児・1歳6か月児・3歳児健診を毎月行う。内容は身体計測、小児科医師・歯科医師の診察、保健師・栄養士・歯科衛生士等による育児相談である。</p> <p>1歳6か月児健診・3歳児健診時に、心理相談員が保育者の育児不安についての相談を個別に対応する。</p> <p>妊婦及び産婦の家庭訪問を行い、健康状態の把握、適切な保健指導を行った。また状況に応じて関係機関と連携を取り、支援を行う。</p>	<p>36回 2238人 22回 76人 随時 525人</p>	<p>健康増進課 健康増進課 健康増進課 健康増進課</p>

20年度 高砂市次世代育成支援行動計画に係る事業計画の実施報告書

項目	実施状況	回数・人数等	担当課
新生児等訪問指導	母親及び新生児の健康状態を把握し、適切な保健指導を行った。また状況に応じて関係機関と連携を取り、支援を行う。	随時 278人	健康増進課
ひだまりサロン	毎月1回、妊婦・1歳までの乳児の親を対象に、母親同士の交流の場づくりやテーマを決めて健康教育の実施、また保健師・助産師・歯科衛生士・栄養士等の専門職による各種個別相談を行い育児支援の充実を図る。	12回 703人	健康増進課
おかあさんの育児教室	1歳6か月児健診等で、ことばの遅れや対人関係がうまく取れない等のこともや、育児不安の強い母親に対して、あそびを通してことばのかかわり方等を支援し、集団遊び・個別相談・保育園等との連携を実施する。	12回 524人	健康増進課
乳幼児相談(電話・面接・家庭訪問)	保健師が電話及び面接により相談を行う。	随時 853人	健康増進課
きらりんくらぶ	3歳児健診等で、ことばの遅れや対人関係がうまく取れない等のこともや、育児不安の強い母親に対して、あそびを通してことばのかかわり方等を支援し、集団遊び・個別相談・保育園等との連携を実施する。	12回 219人	健康増進課
妊婦・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援	子育て支援ネットにより医療機関と連携し、家庭訪問や相談を行う。不妊については特定不妊治療費の助成や専門相談機関を紹介している。	特定不妊治療費助成事業 49件	健康増進課 (健康福祉事務所)
VI-2-① 小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備	妊婦健診に係る費用の一部を助成する。	随時 740人	健康増進課
VI-2-② かかりつけ医の体制整備	事故防止の健康教育の実施と「子どもの急病対応ガイドブック」の配布により急病時の対応を啓発した。	随時	健康増進課
一次救急医療	乳幼児健診、ひだまりサロン等で啓発を行った。	随時	健康増進課
二次救急医療	夜間急病センター、休日・祝日等の救急医療体制の推進を医師会等の協力を得て行った。	随時	健康増進課
VI-3-① 思春期保健対策の強化と健康教育の推進	小児科二次救急医療体制について関係機関と調整及び連携を図った。 NPOひょうご思春期ピアカウンセリング研究会による中高生を対象にした思春期ピアカウンセリング・エディケーションへの実施について、必要に応じ支援を行った。	随時	健康増進課 (健康福祉事務所)

20年度 高砂市次世代育成支援行動計画に係る事業計画の実施報告書

項目		実施状況	回数・人数等	担当課
VI-3-②	こころのケア相談	こころの病気や悩みについて、精神科医師による相談支援、保健師による随時相談を行った。	こころのケア相談年12回、延べ32人	健康増進課(健康福祉事務所)
VI-4-①	もぐもぐの会	離乳食の初・中期(5回)と後期・完了期(5回)の学習及び調理実習を実施した。参加者には仲間づくりができるよう配慮を行った。	10回 86人	健康増進課
	のびのびの会	幼児食について学習及び調理実習を行った。また、年齢に応じた遊びかたや児童への接しかた等を学習する機会とし、「食」と「遊び」をとおして仲間づくりができるように支援を行った。	10回 189人	健康増進課
	とんとん・コトコトの会	親子で調理実習をすることで「食」への関心をたかめ、食育について学ぶ機会とした。	4回 73人	健康増進課
VI-4-②		地産地消に取り組み、旬の食材を給食に使用した。食育の推進を図った。栄養教諭による授業研修会を実施した。	10小学校	学務課
	食を通じた豊かな人間性の形成	各幼稚園において食育の推進を行った。 また、小中学校においても食育全体計画を作成し、各教科特別活動等の時間に計画的に食育を実施した。	全幼稚園、小・中学校	学校教育課
		給食を充実させることにより、園児・児童の心身の健全な発育を促した。また地産地消に取り組み、旬の食材を給食に用い保護者にも啓発した。 園内などで野菜栽培を行い、収穫の喜びを通じた食育を行った。	9園	児童福祉課
VI-5-①		乳幼児等のからだ・こころ・ことばの相談を毎月2回実施。小児科医の診察及び助言、保健相談・栄養相談・心理相談・理学療法相談等を継続することにより、母親の育児支援した。	24回 346人	健康増進課
	療育相談	ことばや発達面で気がかりなところのある子ども達の療育相談を「ママサポーター」事業として児童学園で行った。	来園相談81件 電話相談60件	児童福祉課
		特になし。 (障害者相談支援事業の一環として相談があれば対応 実績なし。)	0	高年・障害福祉課

20年度 高砂市次世代育成支援行動計画に係る事業計画の実施報告書

項目		実施状況	回数・人数等	担当課	
VI-5-②	障害児保育・教育	加配保育士や介助員を配置し、発達階段に応じた指導の充実を図った。		児童福祉課	
	言語発達相談事業	特別支援教育についての研究を行い、一人一人のニーズに応じた教育の充実を図った。	全小・中学校	学校教育課	
		言語発達相談利用者の保護者に補助金を交付した。	延114人	高年・障害福祉課	
	知的障害児通園施設(高砂児童学園)	—		児童福祉課	
	肢体不自由児機能回復訓練	理学療法士による機能回復訓練を保健センター、児童学園で実施した。	36回	児童福祉課	
	ホームヘルプサービス	居宅介護サービス費を給付した。(事業実績額、人数は者を含む。)	延474人	高年・障害福祉課	
	デイサービス	障害児デイサービス費を給付した。	延27人	高年・障害福祉課	
	ショートステイ	短期入所費を給付した。(事業実績額、人数は者を含む。)	延223人	高年・障害福祉課	
	VI-5-③	療育会議への参加	高砂健康福祉事務所が主催する療育会議に出席した。	平成20年11月17日実施	高年・障害福祉課
					健康増進課
				学校教育課	
				児童福祉課	

20年度 高砂市次世代育成支援行動計画に係る事業計画の実施報告書

項目	実施状況	回数・人数等	担当課
VI-5-④ 特別児童扶養手当の給付	関係窓口でチラシ、パンフレット等を配布し、説明を行った。 広報たかさごに掲載して啓発を行った。		児童福祉課
障害児各種手当の給付	障害児福祉手当を支給した。	延579人	高年・障害福祉課
重度心身障害児医療費の助成	重度心身障害児を対象に医療費の一部助成を行った。	対象者127人	国保医療課
介護用器具の助成(日常生活用具等)	障害者に係る日常生活用具を給付した。(事業実績額、人数は者を 含む。)	延318人	高年・障害福祉課